

名大祭実施報告書

文責：戸川 記衣

連絡先： nagoya_nuigurumi@yahoo.co.jp

●実施概要

- ・実施日：2013年6月9日
- ・活動場所：名古屋大学東山キャンパス 全学教育棟 C32
- ・当日参加した学生の人数：23人
- ・来場者数：不明（アンケート集計中のため）
- ・活動時間：10:00～16:00
- ・活動内容：その他（参加・体験企画「みんなで学ぼう！からだのふしぎ」）
- ・当日の流れ

時間	行ったこと
8:00	集合 会場準備
10:00	企画開始
12:15	昼休憩
13:10	企画再開
16:00	企画終了 会場後片付け
18:00	解散

●準備について

- ・今回の準備に向けて初めて MTG を行った日：4月18日
- ・準備に来た学生の人数：1日平均5人
準備合計20人

- ・当日までの準備の日程・内容

日程	主催者側とのやり取り	話し合ったこと、準備したもの
2月15日	名大祭説明会に参加	
3月1日	名大祭実行委員との打ち合わせ	
4月1日	名大祭実行委員との打ち合わせ	企画の分担決め
4月18日		企画内容話し合い
4月23日		進捗内容確認
4月25日		企画内容話し合い

5月2日		
5月4日	名大祭実行委員との打ち合わせ	企画内容話し合い
5月6日		
5月14日	提供物資の受け取り	模型の試作品・ポスター作成
5月16日		模型作製
5月21日		
5月25日	名大祭直前連絡会	
5月28日		模型作製
6月1日		模型作製
6月2日		模型作製
6月4日		模型作製
6月5日		模型作製
6月6日		模型作製
6月7日		模型作製・会場準備
6月8日		模型作製・会場準備

●企画について

- ・テーマ：消化のしくみ
- ・テーマを選んだ理由

以前から保護者からの要望があったことと、教室全体を使う企画として妥当だと考えたため。全国のぬいぐるみ病院プロジェクトにおいて、あるプログラム内でアイデアとして出た内容を元に、実行した。

今回の消化管の中を体験する企画は名大祭開催期間の8日（土）・9日（日）のうち日曜日のみで行われた企画であり、土曜日の屋外企画は別報告書を参照。

- ・形式：その他（ゲーム）

- ・内容：

教室全体を使用し、人間の体の中（消化管）を表現した。子どもたちには食べ物とともに消化管の中を移動し、食べ物がどのように分解され、吸収されるかをゲームやクイズ、説明を通して学んでもらった。

“口”、“胃”、“小腸”、“大腸”の4つのブースに分けて行った。

①口ブース

目的は、たくさん噛むことと、口で食べ物が細くなることを体験すること。
料理を口の模型に入れ、音楽に合わせて 30 回噛むゲームをしてもらった。噛んだ後、料理と引き換えに「ごはん」「やさい」「にく」に分かれた入れ物を入手してもらった。
料理はやや大きめのお皿サイズのをフェルトで作製し、出てくる「ごはん」などもフェルトでそれぞれ栄養ボール（ピンポン玉）が 3 つ入る巾着様の袋を作製した。

②胃ブース

目的は、胃で行われるしくみである攪拌と消化を体験すること。

“口”で細くなった食べ物を胃の模型に入れてかき混ぜてもらい、さらに細かくして“栄養”を取り出す体験をしてもらった。

かき混ぜる間に、フェルト巾着の中から栄養ボールを取り出してこしとり、巾着と栄養ボールを一緒に持って小腸へ移動する。

③小腸ブース

目的は、小腸で栄養が吸収される過程を体験すること。

“栄養”を吸収するゲームを行った。

ゲーム内容：玉入れ

小腸の絨毛を模した穴の中に栄養ボールが入れば「吸収された」とした。

ゲーム終了後、吸収されなかったものとして残った巾着と交換で、“水”と“かす”を模したピンポン玉とプラスチックボールを渡した。

④大腸ブース

目的は、水が吸収されて残ったかすが便となる過程を体験すること。

“水”と“かす”を分けるゲームを行った。

ゲーム内容：パチンコゲーム

大腸を模した滑り台の上から“水”と“かす”のボールを転がし、“水”が穴から下に落ちれば吸収されたとし、“かす”が最後まで下に落ちずに一番下の便器に入れば成功とした。
ピンポン玉は穴から落ちるが、それより大きいプラボールは最後まで転がっていくことで振り分けが行われる。

⑤待ち合い

参加者の方には室外で待っていてもらい、混雑時には食べ物の本を読んだり、診察キットを用いて簡単な保健教育を行った。

⑥お土産

企画の内容を抜粋してまとめた紙をおみやげとして参加者に配った。おおよそ小学校低学

年以下と中学年以上に内容を分けた。

使ったもの（作成したものも含む）

入口・全体	・料理の模型 ・消化管トンネル
口ブース	・歯の模型 ・細かくなった食べ物
胃ブース	・胃の模型 ・細かくなった栄養素
小腸ブース	・小腸の模型（玉入れ）
大腸ブース	・大腸の模型（パチンコ） ・トイレの模型
おみやげ	・小学校低学年以下用 ・小学校中学年以上用

・来場者の反応：

理解：理解してくれた 理解できないようだった わからない

楽しさ：楽しんでいた つまらなそうだった わからない

行動変容：企画を体験して、行動が変わった 変わらなかった わからない

その他

<口ブース> 30回かんだ後に、料理が細かくなって現れる仕掛けが喜ばれた。

<胃ブース> 胃液の手触りが人気だった。説明担当者たちの掛け合いが受けていた。

<小腸ブース> 全体を通して玉入れは特に盛り上がっていた。

<大腸ブース> “水” ボールだけ下に落ち、“かす” ボールが最終的にトイレに入る仕掛けが好評だった。

<おみやげ> 年齢別に作成したものを配布していて、特に親子連れからは驚かれた。

参加者としては、幼稚園児くらいの子どもたちから、親子連れ、学生、お年寄りまで、幅広い年代の方が来場された。企画はおおむね好感触で、参加者の中には途中で歓声をあげる様子もみられた。

前日（土曜日）に出展していたブースに来て、日曜にも来てくれた子もいた。

良かった点

- ・呼び込みが上手く、たくさんの方が来場してくれた。順番待ちの列がとぎれなかった。
- ・食べ物と一緒に移動し、食べ物が実際に細かくなっていくように見せる工夫をしたことで、子どもたちに理解してもらいやすかった。
- ・各ブースのゲームやクイズを子どもたちが楽しんでくれた。
- ・大学祭の中での企画ということもあり大人の来場者も多かったが、大人も楽しんでくれた。

反省点と改善点

計画的に準備を進めることができず、練習する時間もなかった。準備の時の参加者が少なく、一部の人達に大きな負担をかけることになった。大きな企画を行う際は、準備を始める前に企画内容をしっかり決めておくべきだった。